

# 疾患別発生状況解析(平成26年3月～平成26年4月)

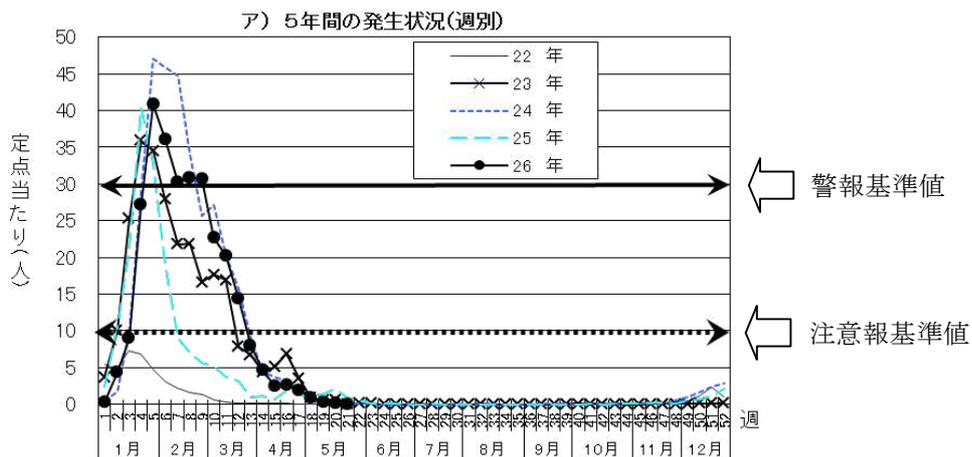
インフルエンザ(警報基準値:定点当たり30人、注意報基準値:定点当たり10人)

川崎市

今期は3月3509件、4月627件、計4136件の報告がありました。過去5年平均の報告数と比較すると3月140%、4月116%と、例年よりやや高いレベルで推移しました。

2013/2014シーズンについては、第5週に定点当たり40.85人とシーズンのピークとなりました。

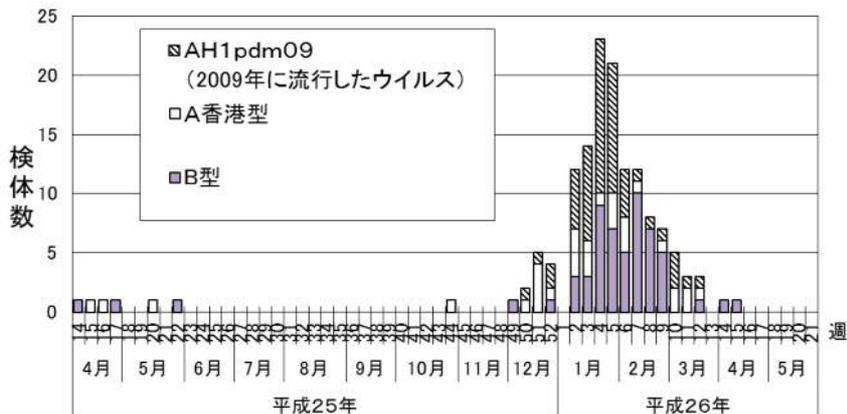
また、2月の患者報告数はほぼ横ばい状態が続いたため、3月の報告数は例年よりも高いレベルで推移しましたが、4月以降は例年並みのレベルで推移しました。



なお、病原体定点からの検出状況は次のとおりです。

今シーズンは、AH3亜型が28件、AH1pdm09型が53件、B型が54件検出されており、シーズン当初からB型が多く検出されました。

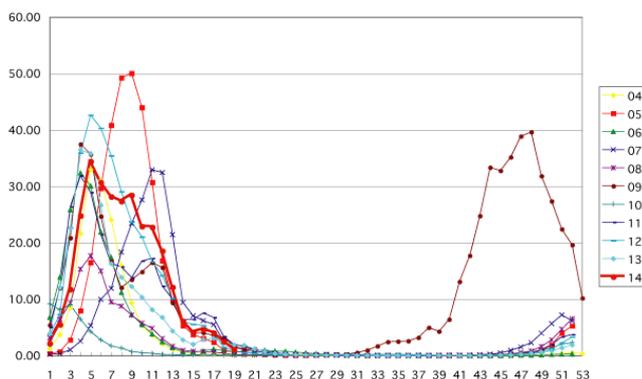
病原体定点からのウイルス検出状況



全国及びその他

全国的にも3月以降は減少傾向となりました。

全国におけるインフルエンザ発生状況

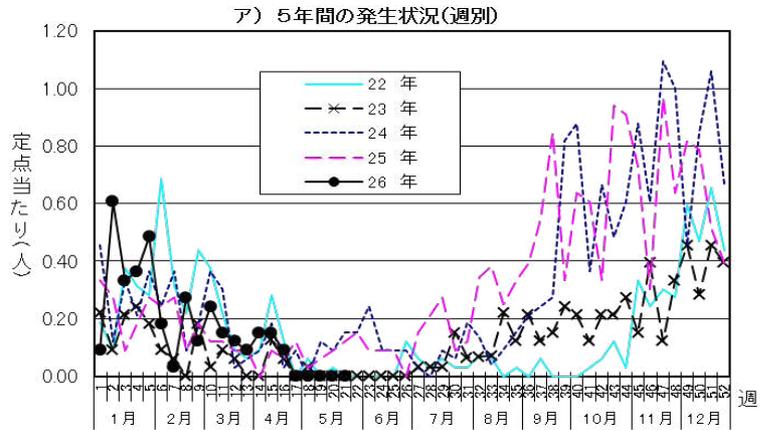


<小児科定点対象疾患>

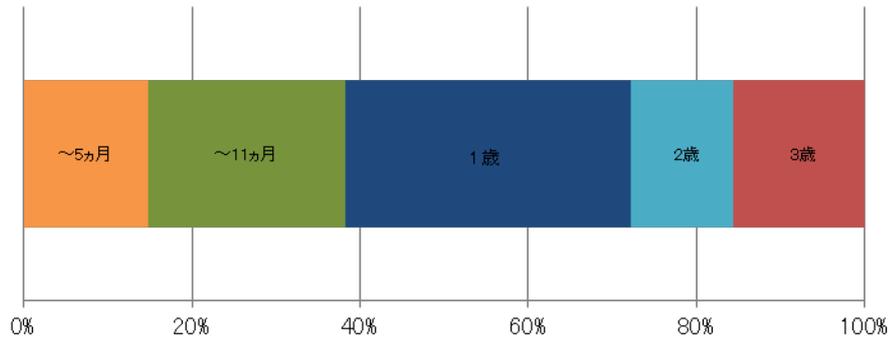
RSウイルス感染症

川崎市

今期は3月20件、4月13件、計33件の報告がありました。  
 過去5年平均の報告数と比較すると3月106%、4月118%と、例年よりやや高いレベルで推移しました。  
 また、年齢別では約72%が1歳以下でした。4歳以上の報告はありませんでした。



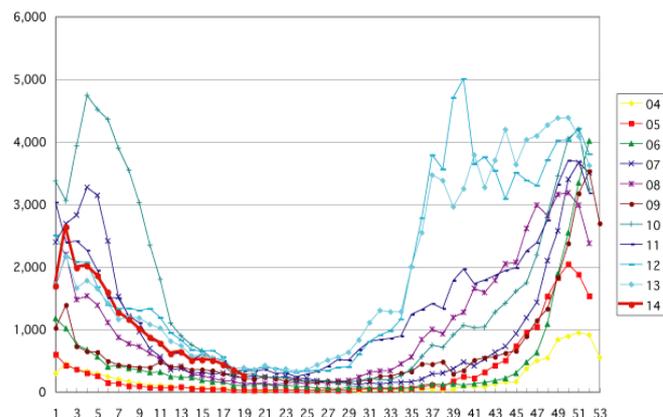
エ) 年齢別発生状況(平成26年1月～平成26年4月)



全国及びその他

全国的にも例年よりやや高いレベルで推移しました。

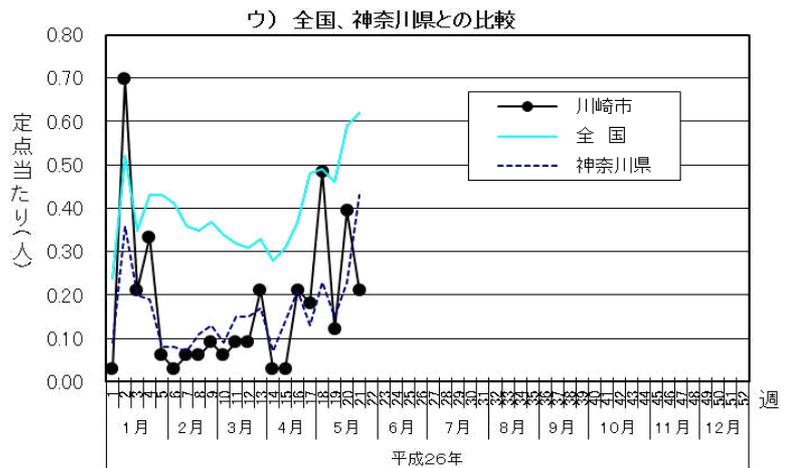
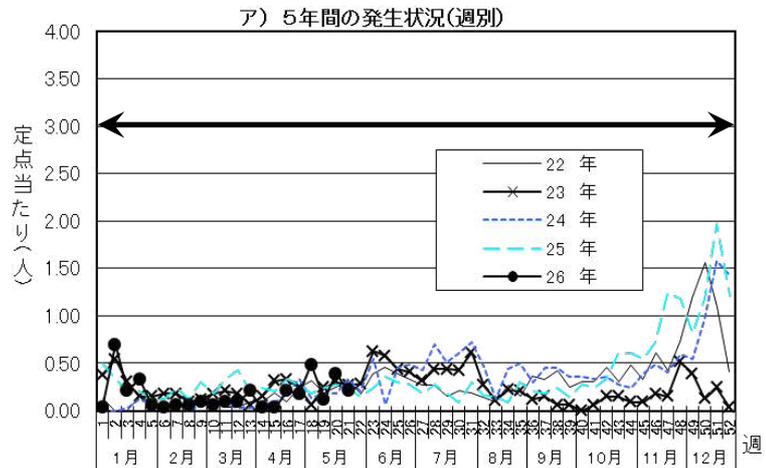
全国におけるRSウイルス発生状況



咽頭結膜熱(警報基準値: 定点当たり3人)

川崎市

今期は3月15件、4月15件、計30件の報告がありました。  
 過去5年平均の報告数と比較すると3月61%、4月45%と、例年より低いレベルで推移しました。  
 近年では、従来流行のあった夏期に患者数の増加が認められず、冬期に患者数が増加する傾向が続いています。今シーズンのこれからの動向に注意が必要です。  
 今期、流行発生警報基準値(3)を超えた週はありませんでした。

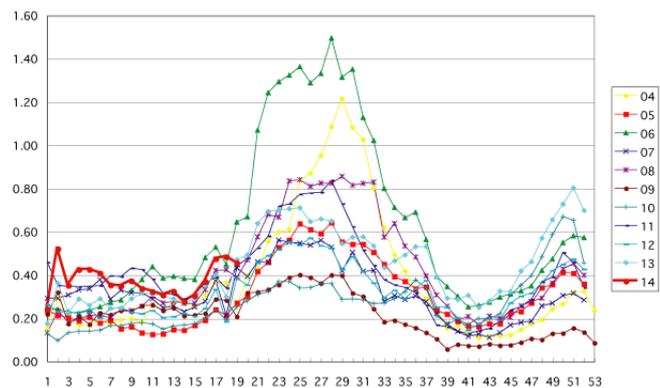


なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

全国及びその他

全国的には例年よりやや高いレベルで推移しました。

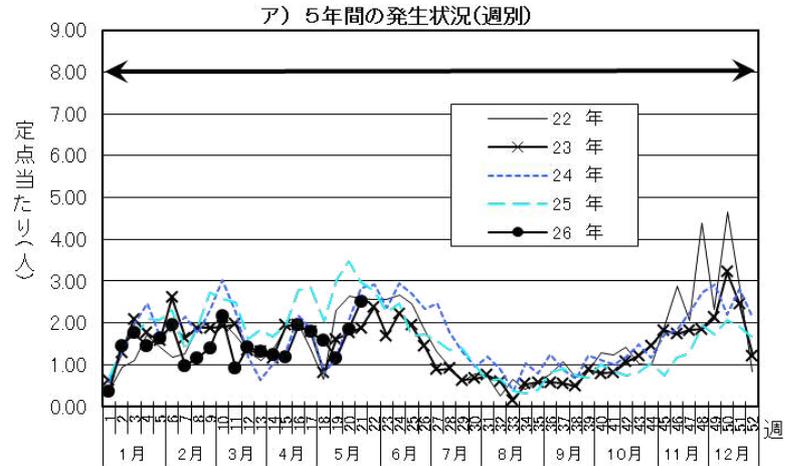
全国における咽頭結膜熱発生状況



## A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(警報基準値:定点当たり8人)

川崎市

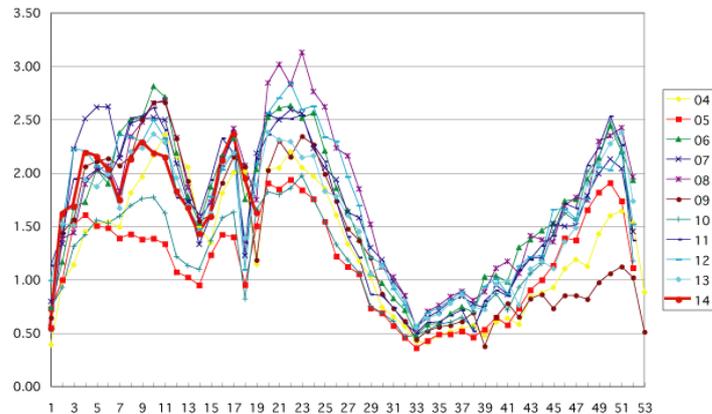
今期は3月191件、4月203件、計394件の報告がありました。  
 過去5年平均の報告数と比較すると3月68%、4月79%と、例年より低いレベルで推移しましたが、5月以降は患者数が増加傾向にありますので、注意が必要です。  
 今期、流行発生警報基準値(8)を超えた週はありませんでした。  
 なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。



全国及びその他

全国的には例年より高いレベルで推移しました。

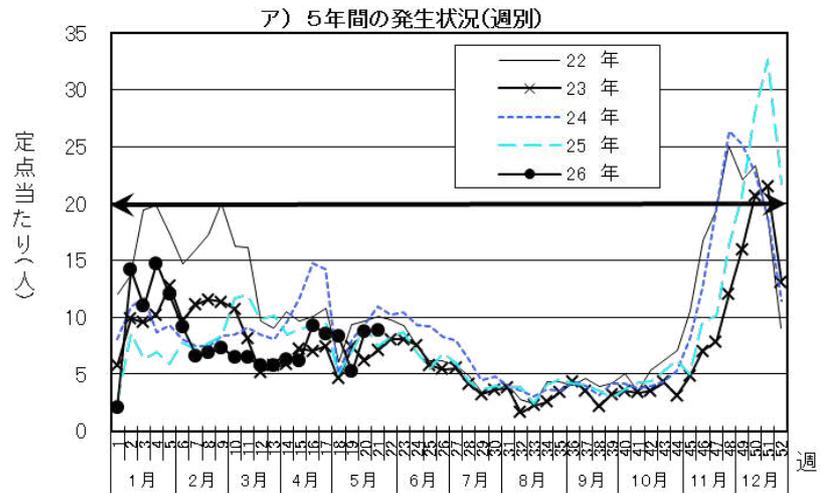
全国におけるA群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況



感染性胃腸炎(警報基準値: 定点当たり 20 人)

川崎市

今期は3月 806 件、4月 1000 件、計 1806 件の報告がありました。  
 過去5年平均の報告数と比較すると3月 56%、4月 72%と、例年より低いレベルで推移しましたが、5月以降は例年よりやや高いレベルで推移しました。

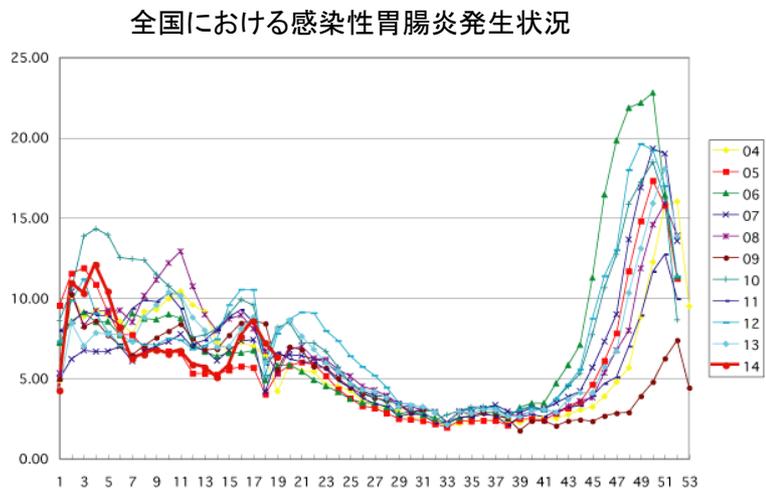


なお、病原体定点からの検出状況は次のとおりです。

検体送付日	区名	検査結果(細菌)	患者性別	患者年齢
H26.4.15	幸区	陰性	男	7

全国及びその他

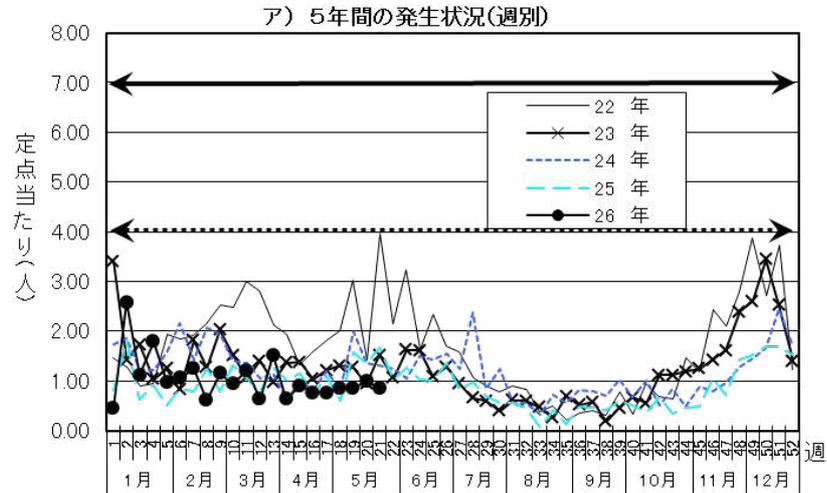
全国的にも3月及び4月は例年より低いレベルで推移しました。



水痘(警報基準値:定点当たり7人、注意報基準値:定点当たり4人)

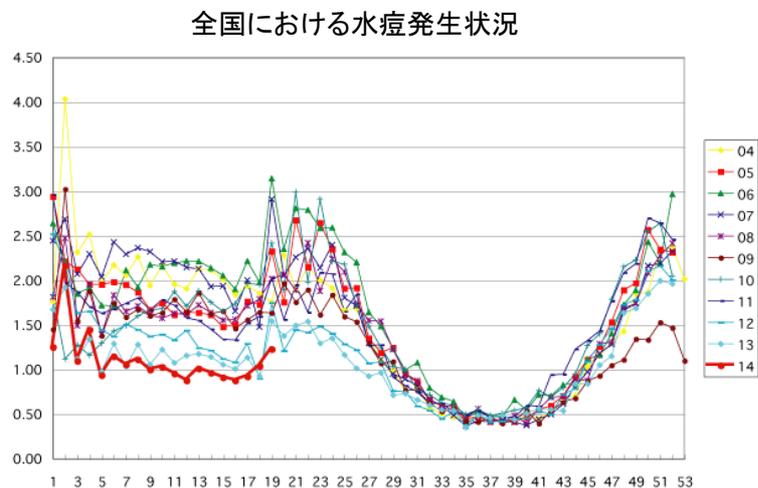
川崎市

今期は3月142件、4月101件、計243件の報告がありました。  
 過去5年平均の報告数と比較すると3月61%、4月59%と、例年より低いレベルで推移しました。  
 今期、流行発生注意報基準値(4)を超えた週はありませんでした。



全国及びその他

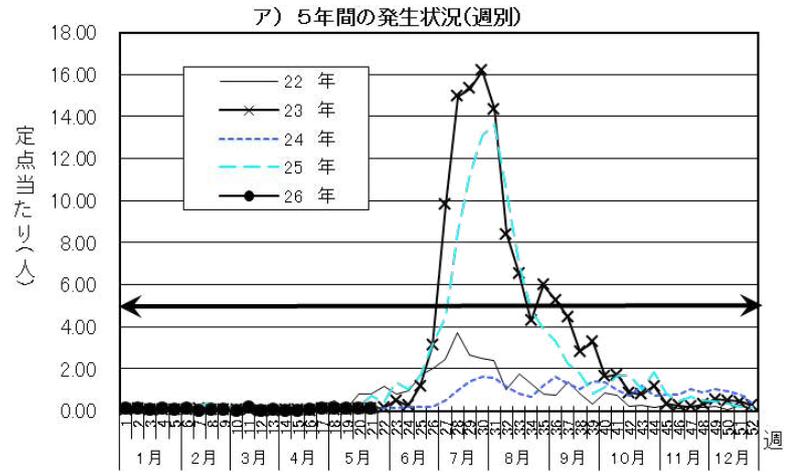
全国的にも例年より低いレベルで推移しました。



手足口病(警報基準値: 定点当たり5人)

川崎市

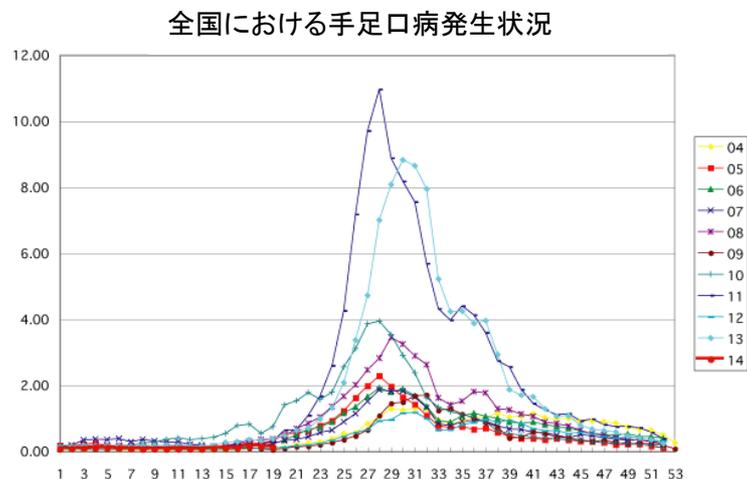
今期は3月6件、4月4件、計10件の報告がありました。  
 過去5年平均の報告数と比較すると3月56%、4月26%と、例年より低いレベルで推移しました。  
 今期、流行発生警報基準値(5)を超えた週はありませんでした。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

全国及びその他

全国的にも目立った流行等は認められませんでした。

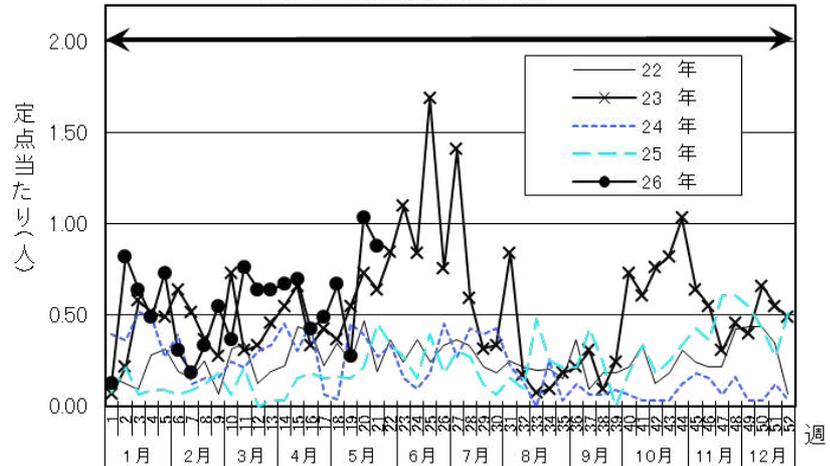


伝染性紅斑(警報基準値:定点当たり2人)

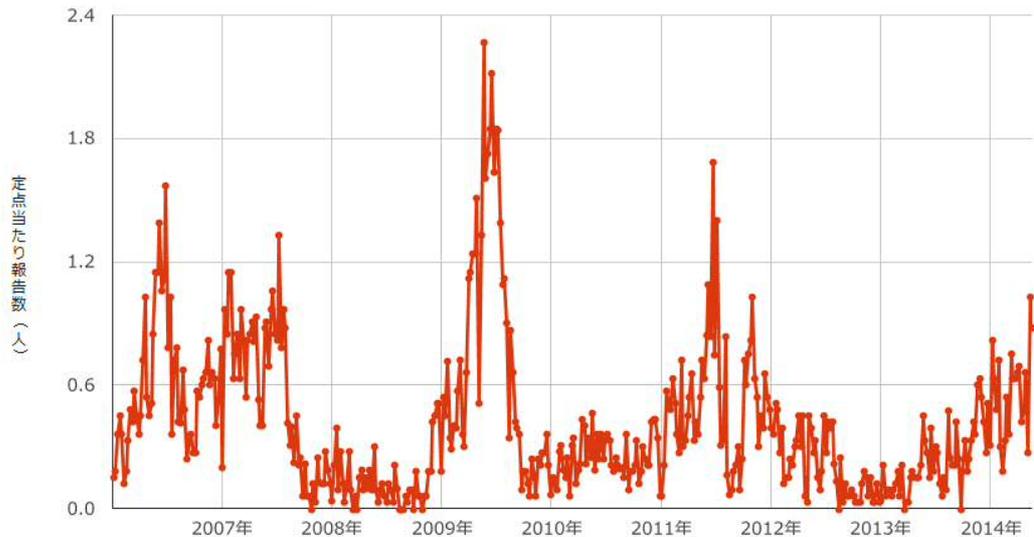
川崎市

今期は3月79件、4月75件、計154件の報告がありました。  
 過去5年平均の報告数と比較すると3月184%、4月99%と、3月に例年より高いレベルで推移しました。2012年及び2013年は例年よりかなり低いレベルで推移していましたが、2014年は年明け以降、高いレベルで推移しています。  
 今期、流行発生警報基準値(2)を超えた週は、宮前区で第12週(2.00)、第15週(2.60)、第20週(2.00)、第21週(2.60)でした。

ア) 5年間の発生状況(週別)



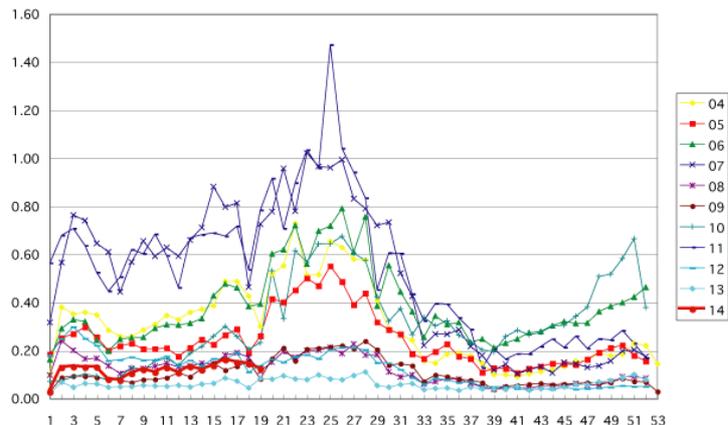
2006年以降の伝染性紅斑発生状況



全国及びその他

全国的には例年より低いレベルで推移しました。

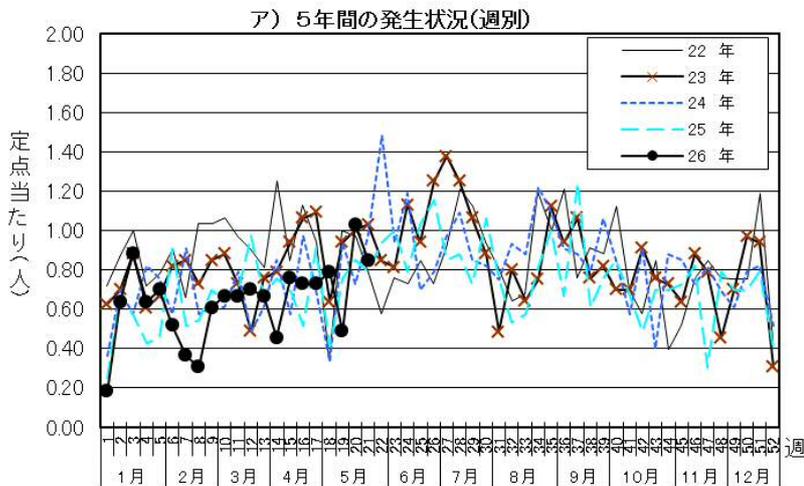
全国における伝染性紅斑発生状況



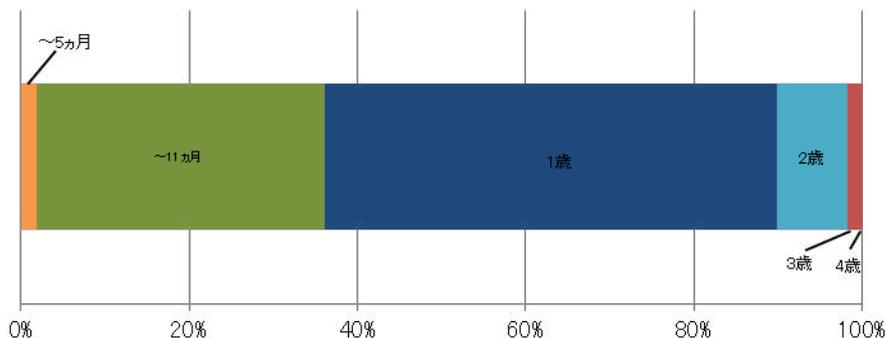
# 突発性発しん

川崎市

今期は3月89件、4月87件、計176件の報告がありました。  
 過去5年平均の報告数と比較すると3月74%、4月65%と、例年より低いレベルで推移しており、特に問題となる流行は認められませんでした。  
 また、例年と同様に、年齢別では1歳以下が約90%を占めていました。



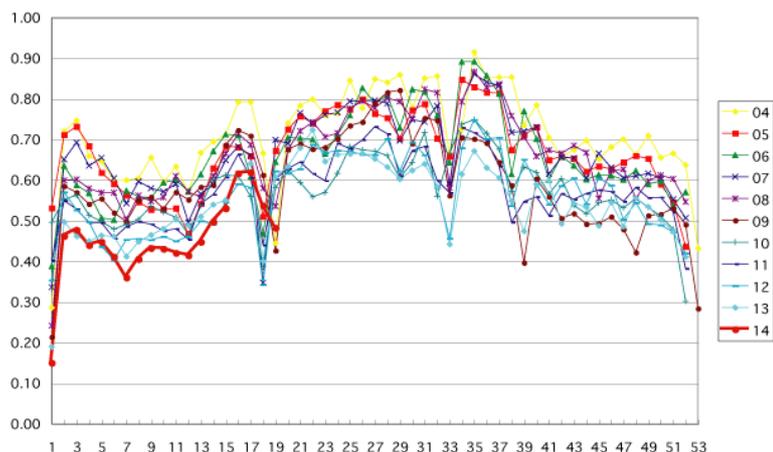
エ) 年齢別発生状況(平成26年1月～平成26年4月)



全国及びその他

全国的にも例年より低いレベルで推移しました。

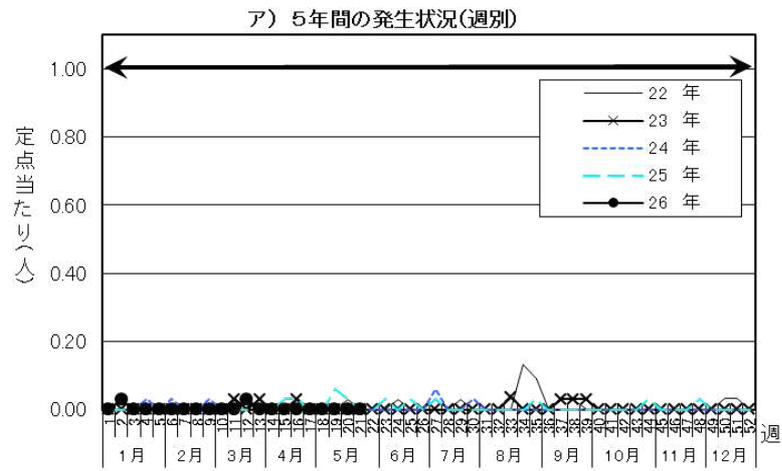
全国における突発性発しん発生状況



百日咳(警報基準値: 定点当たり1人)

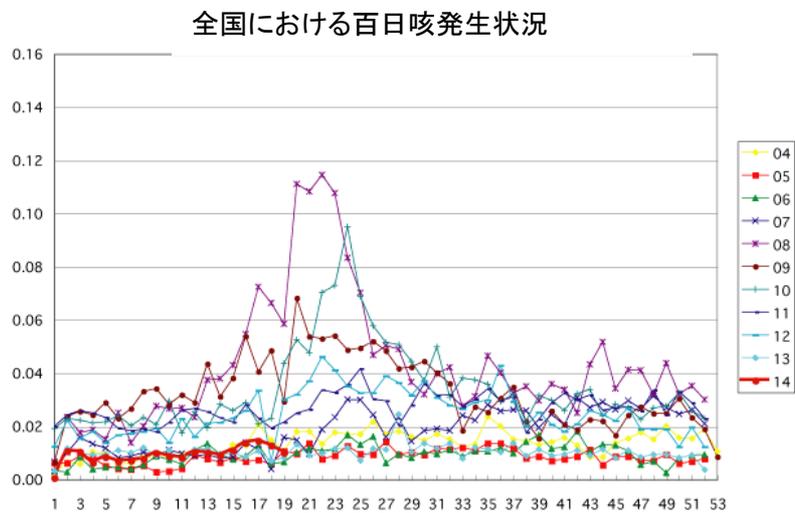
川崎市

今期は3月1件(20歳以上)の報告がありました。  
 病原体定点からの検体の提供はありませんでした。



全国及びその他

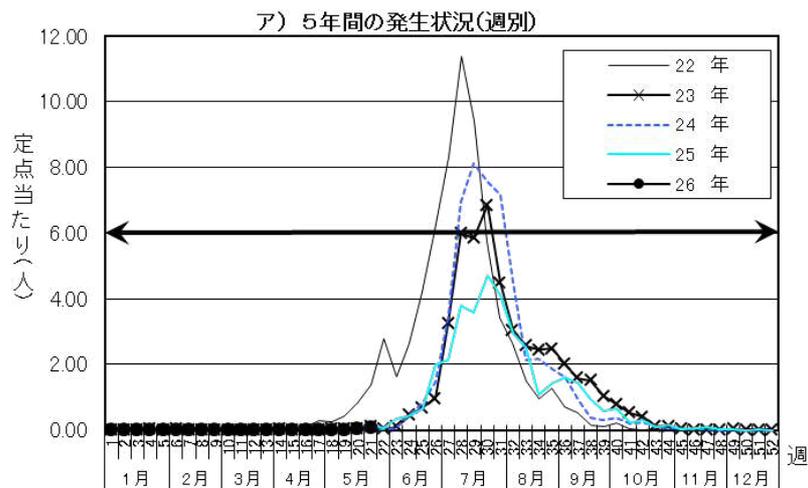
全国的には例年より低いレベルで推移しました。



# ヘルパンギーナ(警報基準値:定点当たり6人)

川崎市

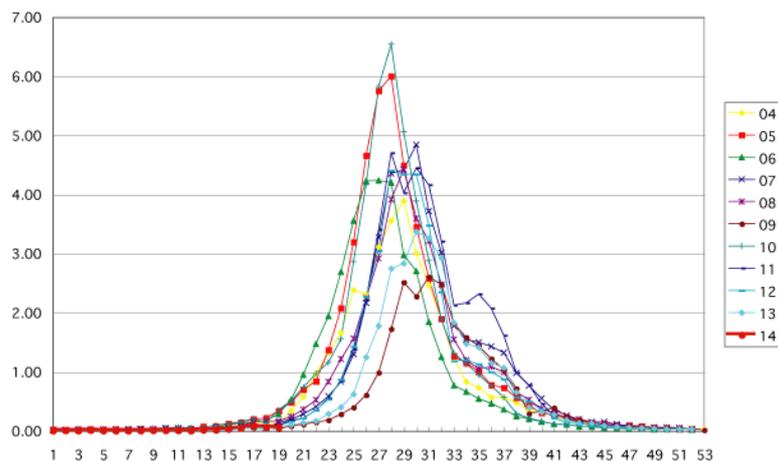
今期は報告がありませんでした。



全国及びその他

全国的にも目立った流行等は認められませんでした。

全国におけるヘルパンギーナ発生状況



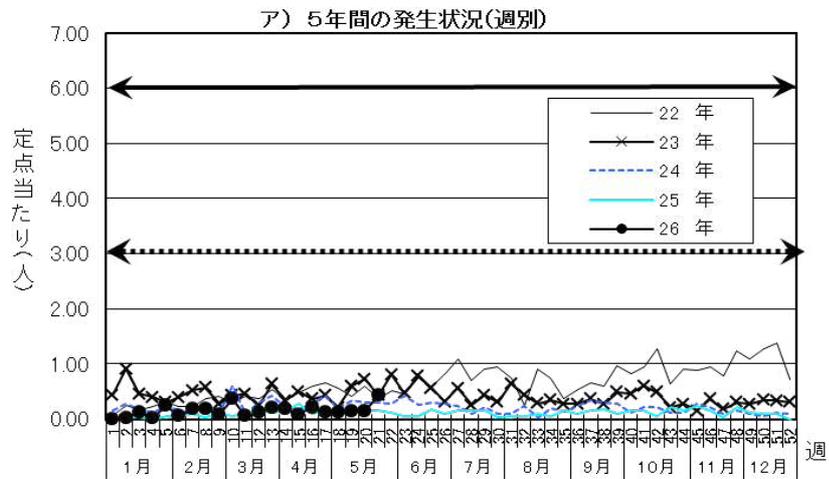
流行性耳下腺炎(警報基準値:定点当たり6人、注意報基準値:定点当たり3人)

川崎市

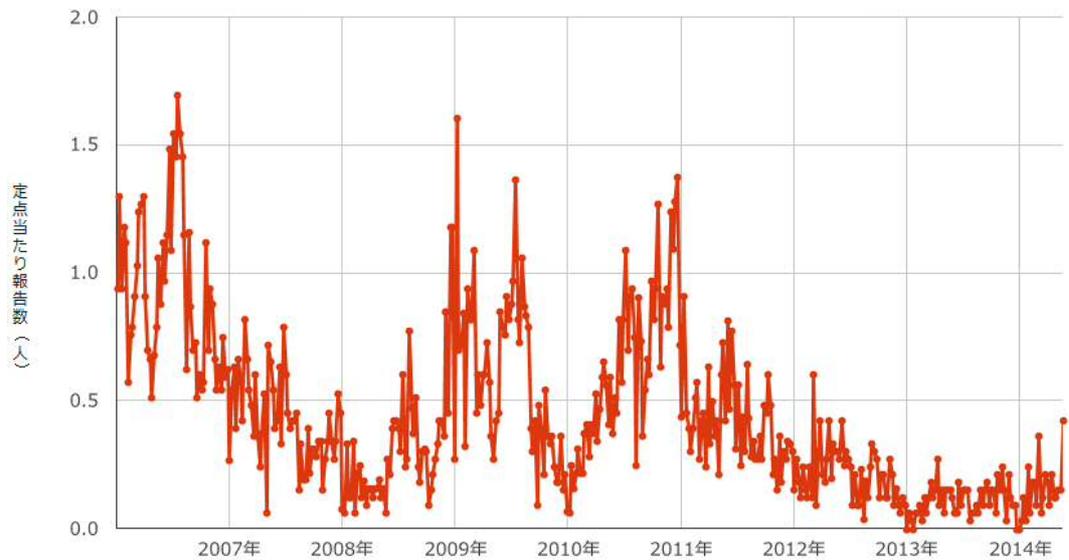
今期は3月25件、4月20件、計45件の報告がありました。

過去5年平均の報告数と比較すると3月47%、4月35%と、例年よりかなり低いレベルで推移し、特に問題となる流行は認められませんでした。

今期、流行発生注意報基準値(3)を超えた週はありませんでした。



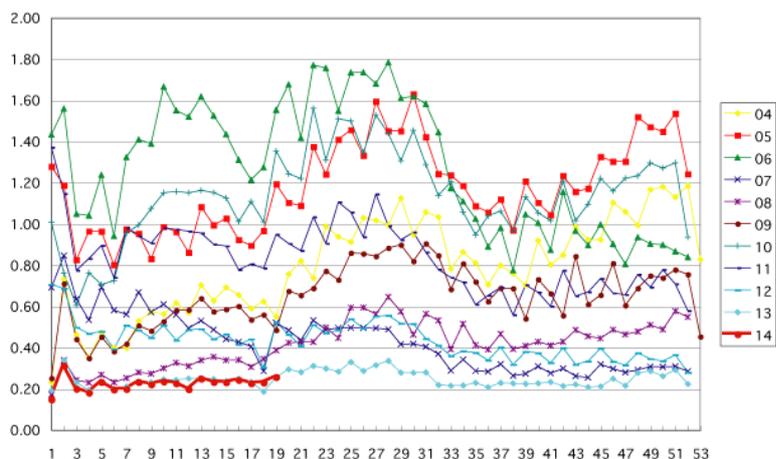
2006年以降の流行性耳下腺炎発生状況



全国及びその他

全国的にも例年より低いレベルで推移しました。

全国における流行性耳下腺炎発生状況

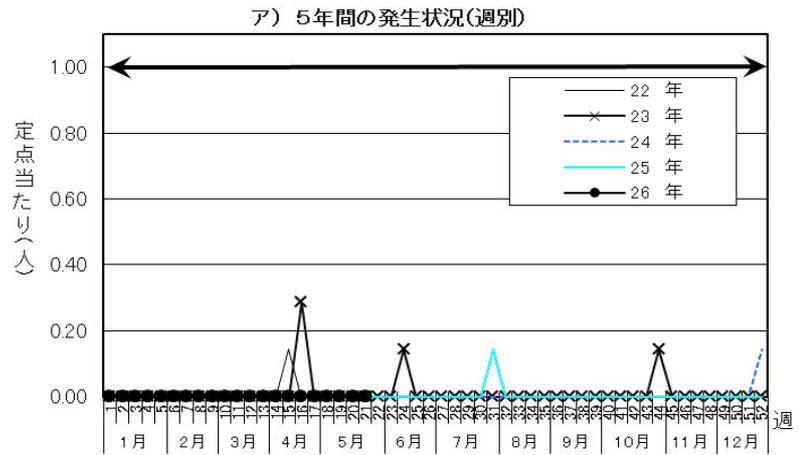


<眼科定点対象疾患>

急性出血性結膜炎(警報基準値: 定点当たり1人)

川崎市

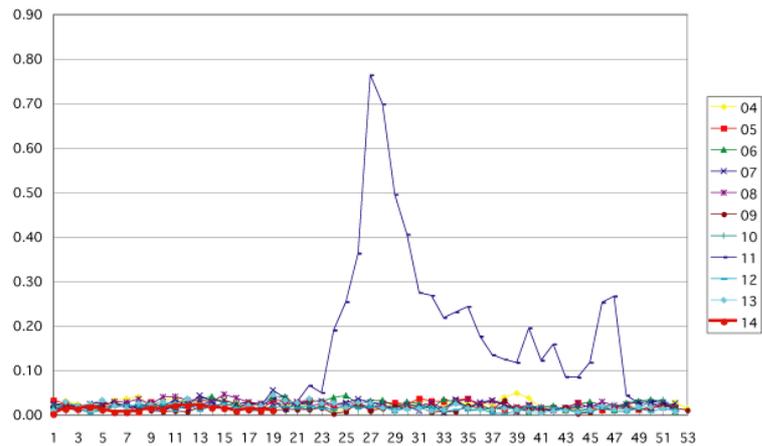
今期は報告がありませんでした。



全国及びその他

全国的にも例年より低いレベルで推移しました。

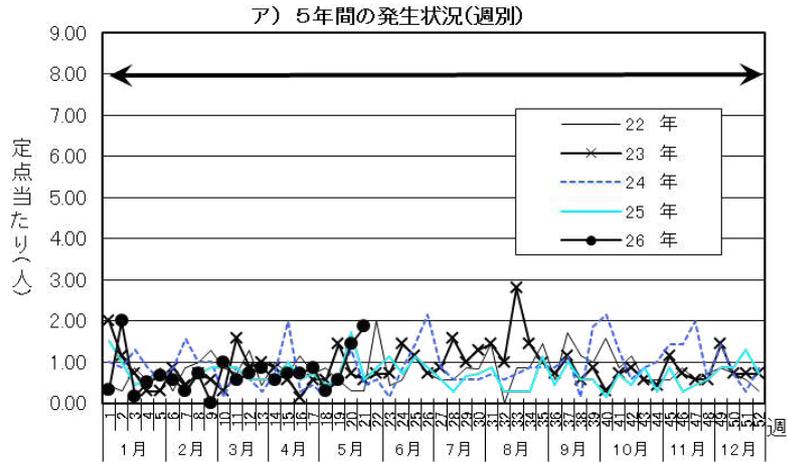
全国における急性出血性結膜炎発生状況



流行性角結膜炎(警報基準値:定点当たり8人)

川崎市

今期は3月22件、4月20件、計42件の報告がありました。  
 過去5年平均の報告数と比較すると3月97%、4月94%と、ほぼ例年並みのレベルで推移しました。  
 今期、流行発生警報基準値(8)を超えた週はありませんでした。

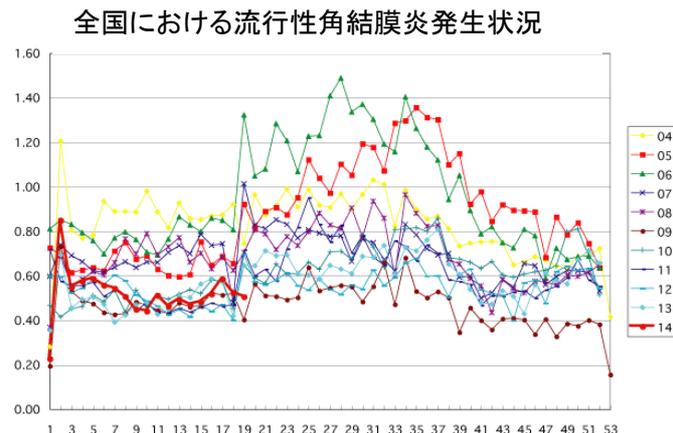


病原体定点からの検出状況は次のとおりです。

検体送付日	区名	検査結果	検査結果(亜型)	患者性別	患者年齢
H26.3.4	川崎	陰性		女	2
H26.3.10	川崎	陰性		男	78
H26.3.14	川崎	陰性		女	4
H26.3.18	川崎	陰性		男	33
H26.3.18	川崎	陰性		女	62
H26.3.31	川崎	陰性		女	42
H26.4.8	川崎	アデノウイルス	37	女	44
H26.4.7	川崎	陰性		男	26
H26.4.14	川崎	陰性		女	50
H26.4.14	川崎	陰性		女	21
H26.4.15	川崎	陰性		男	41

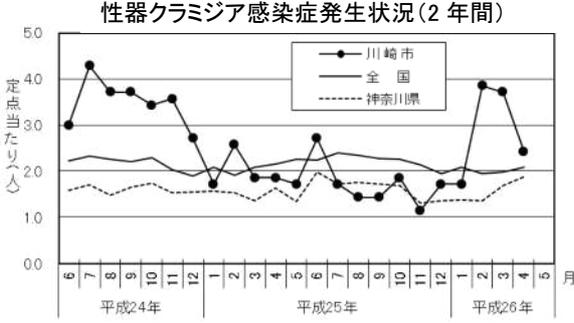
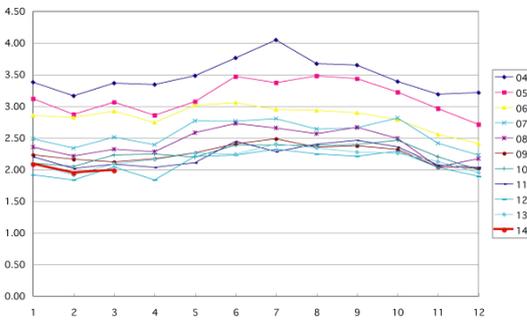
全国及びその他

全国的には例年より低いレベルで推移しました。

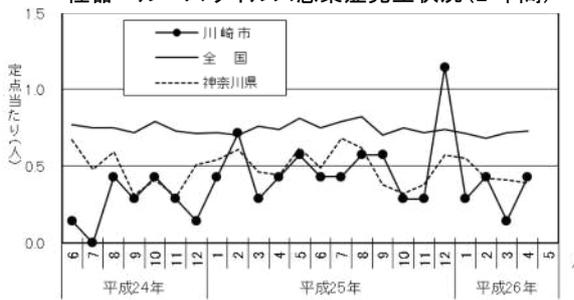
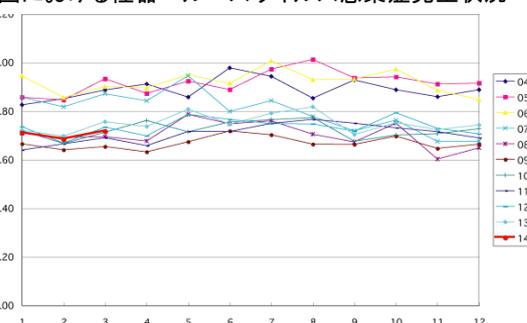


## <性感染症定点対象疾患>

### 性器クラミジア感染症

<p>川崎市</p>	<p>今期は3月26件、4月17件、計43件の報告がありました。 過去5年平均の報告数と比較すると3月163%、4月133%と、例年より高いレベルで推移しました。</p> <p style="text-align: center;"><b>性器クラミジア感染症発生状況(2年間)</b></p> 
<p>全国及びその他</p>	<p>全国的には例年より低いレベルで推移しました。</p> <p style="text-align: center;"><b>全国における性器クラミジア感染症発生状況</b></p> 

### 性器ヘルペスウイルス感染症

<p>川崎市</p>	<p>今期は3月1件、4月3件、計4件の報告がありました。 過去5年平均の報告数は2.4件であり、例年より高いレベルで推移しました。</p> <p style="text-align: center;"><b>性器ヘルペスウイルス感染症発生状況(2年間)</b></p> 
<p>全国及びその他</p>	<p>全国的には例年よりやや低いレベルで推移しました。</p> <p style="text-align: center;"><b>全国における性器ヘルペスウイルス感染症発生状況</b></p> 

## 尖圭コンジローマ

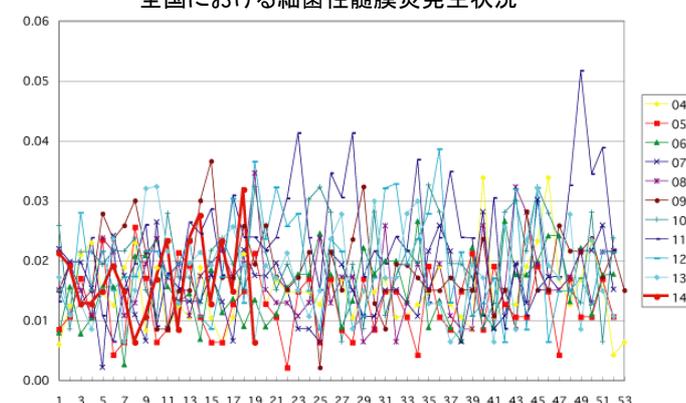
<p>川崎市</p>	<p>今期は3月5件、4月2件、計7件の報告がありました。 過去5年平均の報告数は3.2件であり、例年より高いレベルで推移しました。</p> <div data-bbox="638 280 1189 616" data-label="Figure"> <p>尖圭コンジローマ発生状況(2年間)</p> </div>
<p>全国及びその他</p>	<p>全国的には例年よりやや低いレベルで推移しました。</p> <div data-bbox="670 716 1189 1052" data-label="Figure"> <p>全国における尖圭コンジローマ感染症発生状況</p> </div>

## 淋菌感染症

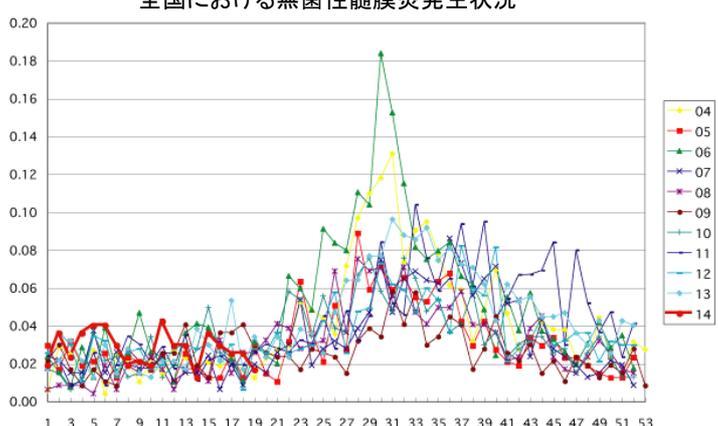
<p>川崎市</p>	<p>今期は3月3件、4月2件、計5件の報告がありました。 過去5年平均の報告数は10.8件であり、例年より低いレベルで推移しました。</p> <div data-bbox="638 1288 1189 1624" data-label="Figure"> <p>淋菌感染症発生状況(2年間)</p> </div>
<p>全国及びその他</p>	<p>全国的にも例年より低いレベルで推移しました。</p> <div data-bbox="670 1758 1189 2094" data-label="Figure"> <p>全国における淋菌感染症発生状況</p> </div>

## <基幹定点対象疾患（週報）>

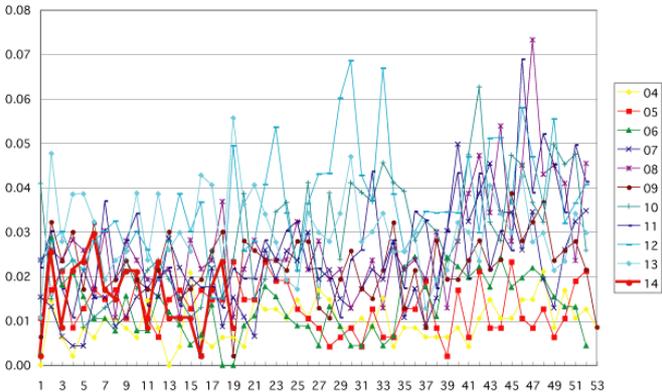
### 細菌性髄膜炎

川崎市	<p>今期は1件の報告がありました。過去5年平均の報告数は1.4件であり、例年より低いレベルで推移しました。</p> <p><i>Citrobacter koseri</i>（男性70歳）</p>
全国及びその他	<p>全国的にはほぼ例年並みのレベルで推移しました。</p> <div style="text-align: center;"> <p>全国における細菌性髄膜炎発生状況</p>  </div>

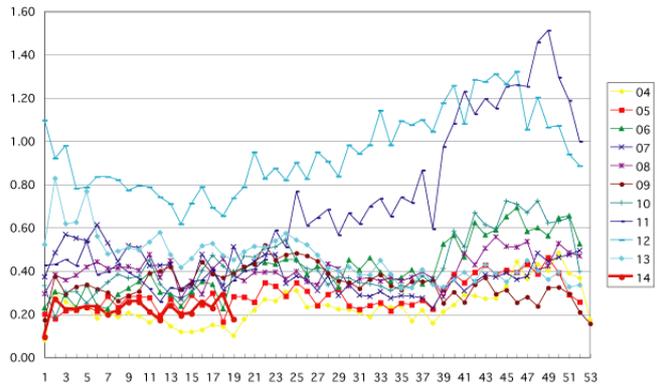
### 無菌性髄膜炎

川崎市	<p>今期は3月1件、4月3件、計4件の報告がありました。過去5年平均の報告数は0.6件であり、例年より高いレベルで推移しました。</p> <p>病原体定点からの検出状況（疑い事例※を含む）は次のとおりです。</p> <table border="1" data-bbox="446 1220 1484 1523"> <thead> <tr> <th>検体送付日</th> <th>区名</th> <th>検査結果</th> <th>検査結果（亜型）</th> <th>患者性別</th> <th>患者年齢</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26.3.10</td> <td>川崎</td> <td>ヘルペスウイルス</td> <td>6</td> <td>男</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>H26.3.26</td> <td>川崎</td> <td>ヘルペスウイルス※</td> <td>7</td> <td>女</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>H26.3.27</td> <td>川崎</td> <td>ロタウイルス※</td> <td>G1P8</td> <td>女</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>H26.4.4</td> <td>川崎</td> <td>ヘルペスウイルス※</td> <td>6</td> <td>男</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	検体送付日	区名	検査結果	検査結果（亜型）	患者性別	患者年齢	H26.3.10	川崎	ヘルペスウイルス	6	男	25	H26.3.26	川崎	ヘルペスウイルス※	7	女	4	H26.3.27	川崎	ロタウイルス※	G1P8	女	4	H26.4.4	川崎	ヘルペスウイルス※	6	男	5
検体送付日	区名	検査結果	検査結果（亜型）	患者性別	患者年齢																										
H26.3.10	川崎	ヘルペスウイルス	6	男	25																										
H26.3.26	川崎	ヘルペスウイルス※	7	女	4																										
H26.3.27	川崎	ロタウイルス※	G1P8	女	4																										
H26.4.4	川崎	ヘルペスウイルス※	6	男	5																										
全国及びその他	<p>全国的には例年よりやや高いレベルで推移しました。</p> <div style="text-align: center;"> <p>全国における無菌性髄膜炎発生状況</p>  </div>																														

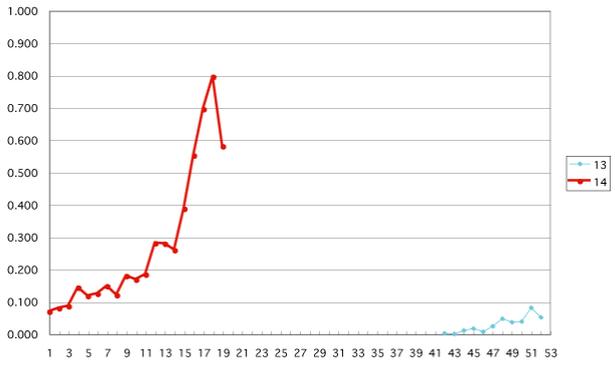
## クラミジア肺炎(オウム病を除く)

川崎市	今期は報告がありませんでした。
全国及びその他	<p>全国的にも例年よりやや低いレベルで推移しました。</p> <p style="text-align: center;">全国におけるクラミジア肺炎発生状況</p> 

## マイコプラズマ肺炎

川崎市	今期は報告がありませんでした。
全国及びその他	<p>全国的にも例年より低いレベルで推移しました。</p> <p style="text-align: center;">全国におけるマイコプラズマ肺炎発生状況</p> 

## 感染性胃腸炎(ロタウイルス)

川崎市	今期は2件の報告がありました。
全国及びその他	<p>全国的には4月頃から高いレベルで推移しました。</p> <p style="text-align: center;">全国における感染性胃腸炎(ロタウイルス)発生状況</p> 

<基幹定点対象疾患（月報）>

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

川崎市	<p>今期は3月2件、4月4件、計6件の報告がありました。 過去5年平均の報告数は7.8件であり、例年よりやや低いレベルで推移しました。</p>
全国及びその他	<p>全国的にも例年より低いレベルで推移しました。</p> <p style="text-align: center;">全国におけるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症発生状況</p> <p>The graph displays the monthly incidence of methicillin-resistant yellow staphylococcal infection from 2004 to 2014. The Y-axis represents the number of cases, ranging from 0.00 to 6.00. The X-axis represents the month, from 1 to 12. Multiple lines represent different years, with 2014 (red line) showing a notably lower incidence compared to previous years.</p>

ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

川崎市	<p>今期は3月1件、4月1件、計2件の報告がありました。 過去5年平均の報告数は1.0件であり、例年より高いレベルで推移しました。</p>
全国及びその他	<p>全国的には例年より低いレベルで推移しました。</p> <p style="text-align: center;">全国におけるペニシリン耐性肺炎球菌感染症発生状況</p> <p>The graph displays the monthly incidence of penicillin-resistant pneumococcal infection from 2004 to 2014. The Y-axis represents the number of cases, ranging from 0.00 to 2.00. The X-axis represents the month, from 1 to 12. Multiple lines represent different years, with 2014 (red line) showing a lower incidence compared to previous years.</p>

## 薬剤耐性緑膿菌感染症

川崎市	今期は報告がありませんでした。
全国及びその他	<p>全国的にも例年より低いレベルで推移しました。</p> <p style="text-align: center;">全国における薬剤耐性緑膿菌感染症発生状況</p>

## 薬剤耐性アシネトバクター感染症

川崎市	今期は報告がありませんでした。
全国及びその他	<p>全国的にも例年より低いレベルで推移しました。</p> <p style="text-align: center;">全国における薬剤耐性アシネトバクター感染症発生状況</p>